

MFJ 北海道エンデューロ選手権観戦レポート(前編)

－ 第6戦 ルスツ大会 2019.10.6 BIGBEAR －



ルスツのBIGBEARで開催された“北海道エンデューロ選手権 第6戦 ルスツ大会”に行ってきました。今回のレースは2019年度シリーズ戦の最終レースであり、来年度に向けた上位クラスへの昇格がかかった大事なレースでもあります。競技方式は今や道内の選手達にも馴染んできた簡易オンタイム制。スペシャルテストのあるコースを制限時間内にクラス毎に決められた数だけ周回し、そのスペシャルテストでの合計タイムを競います。



2日前の金曜日未明の激しい雨で、大会当日のコンディションが心配されていましたが、前日の朝に現地に入ってみると、大きな水溜まりや崩れた箇所も無く、路面もそれほど滑るわけでも無いので、レースを行うコースとしてはまずまずといった感じ。自分がミニモトで走った印象は、ルート区間は、これまでテストとして使っていた牧草コースを通過して、山の左側半分をひたすら頂上まで上って下って来る設定となっており、小排気量でもしっかりしたタイヤを履いて、アクセルをアケ・アケで上れば、問題なく帰ってこられる感じでした。なお、後半部分にはイヤらしいキャンバーが用意されていました。一方、テスト区間は、スタートしてすぐのところに急な土手上がりがあり、それから山の右側半部分を時計回りに上って下りて、一番奥のウッズにはいつもの急坂下りと土手上がりが設定されていました。総体的には、これまでの平らな牧草の上を爆走するスプリント風なテストとは違って、一瞬戸惑ってミス

をすると、リカバリーに時間を費やしてしまいそうな箇所もあり、より変化に富んだエンデューロらしいコース設定になっていました。またここで主催者の配慮を感じたのは、ルートのイヤらしいキャンバーや、テストのスタート直後の土手なりに、しっかりと迂回ルートが設定されていたことです。難所で失敗して体力を消耗するか、それとも時間をかけて迂回するのか、若干迷うところですが、その判断はライダー自らが選択できるので、プレッシャーを気にせず、楽しく走れそうな気がしました。一応この日の午前中はルートのコーステープとマークを設置し、午後からはテストコースの杭打ちやコーステープ張り、マーキング、パルクフェルメ（車両保管場所）の設置を急ピッチで行いました。

◎レースの当日

レース当日の朝は結構気温が低く、BIGBEAR の上空には雲が立ちこめていたものの、雨が降る心配はなさそうな感じでした。コースの路面もほどよく湿っていて、前走者の土ボコリを気にしなくてすみそうです。気温は、黙っていると肌寒いのですが、いったん走り出せば気持ちよく走れるベストコンディションな状態でした。

事前に公表されたエントリーリストによると、今回の出場数は 71 台で、これまでのレースとほぼ同様な台数になっていました。IA クラスが 1 台、IB クラスが 13 台、NA クラスが 9 台、NB クラスが 27 台、B クラスが 4 台、C クラスが 12 台、市販車クラスが 4 台、市販車 EXP クラスが 1 台となっていました。いつものように市販車クラスには副賞のお米が用意されていました。また各クラスの周回数は、IA/IB クラスが 7 周、NA/NB クラスが 6 周、B クラスが 5 周、C/市販車 EXP/市販車クラスが 4 周となっていました。

朝 8 時から受付と車検、ブリーフィングが行われ、時間どおり 9 時に IA クラスがスタートしました。

◎レースの概要

- IB クラスは 110 前田選手が圧勝！



次期 IA 昇格争いで注目される IB クラスは、前回、夕張で行われた R4 ヒーローレーシング大会に続いて、110 前田選手が圧勝しました。前田選手は昨年もこのルスの最終戦で優勝しています。とにかく速く、IB 選手の中でもただ一人だけ 45 分台のタイムを出しています。



2 位は 161 三本松選手でした。三本松選手は、今年のシリーズ戦では、第 1 戦のルスの戦で 4 位の成績を残しています。今回のタイムは 46 分台で、トップとの差は 1 分 23 秒でした。また 3 位は 154 佐藤選手で 47 分台。4 位は 121 木口選手、5 位は 164 北村選手、6 位は 125 宮崎選手で、3 人とも 49 分台の中で数秒を争う好レースを展開していました。

●NA クラスは 329 中江選手が優勝！



毎回1位と2位を争っている329中江選手と330伊藤選手なのですが、これまで中江選手は1勝3敗（1位-1回、2位-3回）で伊藤選手にリードされていたものの、最終戦では雪辱を果たして伊藤選手を破り優勝しました。



2位は330伊藤選手、3位は304小山選手、4位は318清水選手、5位は331伊原選手、6位は332秋元選手でした。注目の333佐藤選手は7位、343小林選手は8位でした。

●NBクラスは447松山選手が初優勝！



毎回およそ30名の参加者が好レースを展開しているNBクラス。482飯田選手と474山下選手が欠場する中で、誰が頂点に立つのか興味津々で見えていましたが、最終戦は447松山選手が抜群の走りを見せて初優勝しました。



2位は477 田崎選手でトップとの差は2秒を切っていました。3位は445 板谷選手、4位は492 大石選手、5位は490 小熊選手、6位は424 鈴木選手でした。注目の460 渋谷選手は7位、451 齋藤選手は19位でした。

●Bクラスは615 大石選手が初優勝！



今回のBクラスは、初出場の615 大石選手が2位以下に3分以上の差をつけて優勝しました。



2位は602 高倉選手、3位は613 花井選手でした。

●Cクラスは672 竹内選手が破竹の4連勝！



Cクラスは、夕張で行われたR2ヒーローレーシング大会で優勝してから勝ち続けている672竹内選手が4連勝を果たしました。

2位は653山本選手、3位は679佐々木選手、4位は677鈴木選手、5位は657村井選手、6位は675真鍋選手でした。ちなみに、2位の山本選手は初戦(R1)のルスツ戦で優勝して以来、R2からR4までは全て竹内選手に優勝を阻まれ2位に甘んじていました。最終戦で優勝して何とか雪辱を果たしたかったようですが、残念ながら願いは叶わなかったようです。この悔しさをバネとして、来シーズンも頑張っていたきたいと思います。



●市販車 EXP クラス/市販車クラス

市販車 EXP クラスは1台の参加で常連の700菅原選手が優勝しました。



市販車クラスは4台の参加で、常連の702竹村選手が優勝し、2位は711兼古選手、3位は704奥野選手でした。



毎回優勝して副賞のお米をゲットしていく菅原選手と竹内選手ですが、来期こそこの二人を破る選手が出現して、レースを盛り上げて欲しいですね。気軽に市販車でレースを楽しめ

るこのクラスは、オフロードバイクの裾野を広げていくためにとても重要な役割を果たしています。選手の皆さんやバイク屋さんが、レースに興味のあるライダーをどんどん誘って、このお二人を負かして副賞のお米を持ち帰っていただきたいと思います。

◎表彰式

・IA クラス/IB クラス



写真左から (IA 優勝) 佐伯選手 (IB 優勝) 前田選手 (2位) 三本松選手 (3位) 佐藤選手

・NA クラス



写真左から

(優勝) 中江選手
(2位) 伊藤選手
(3位) 小山選手

・NB クラス



写真左から

- (優勝) 松山選手
- (2位) 田崎選手
- (3位) 北谷選手



写真左から

- (4位) 大石選手
- (5位) 小熊選手
- (6位) 鈴木選手
- (7位) 渋谷選手
- (8位) 菊池選手
- (9位) 高見選手
- (10位) 松山選手

・B クラス



写真左から

- (優勝) 大石選手
- (2位) 高倉選手
- (3位) 花井選手

・C クラス



(優勝) 竹内選手

(2位) 山本選手

(3位) 佐々木選手

・市販車 EXP クラス/市販車クラス



写真左から

市販車 EXP クラス
(優勝) 菅原選手

市販車クラス
(優勝) 竹村選手
(2位) 兼古選手
(3位) 奥野選手

・特別賞(女性の活躍)



写真左から

471 高見選手

657 村井選手

後編に続く . . .

BY 2か

●2かのフォトギャラリー

抜粋

<https://photos.app.goo.gl/XqmT8Z4a2ckQJE7w5>

全体

<https://photos.app.goo.gl/B6zbdm6xFgkoouLg8>

●リザルト

<https://bigbeardotmx.files.wordpress.com/2019/10/red2019octres.pdf>

●2019MFJ 北海道 ED ポイントランキング

https://www.jmpsa.or.jp/prg_img2/pdf/pdf2019100618144698874400.pdf